

大麦の出穂期は生育の早いほ場で4月7日前後と見込まれ、平年より9日程度早くなっています。積雪期間が少なかったため、地域による生育の差は小さくなっています。

赤かび病防除は、大麦の出穂状況を確認し、適期防除に努めてください。

【出穂期の目安（10月上中旬播種）】

平坦地域：4月7日頃 中間地域：4月10日頃

【防除の目安】

防除月日		農薬名	10a当たり散布量
平坦地域	1回目（穂揃期） 4月10日頃	トップジンMゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 4月17日頃	ワークアップフロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）
中間地域	1回目（穂揃期） 4月13日頃	トップジンMゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 4月20日頃	ワークアップフロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）

※出穂期が早い場合、登熟期間が長くなり病害発生の危険性が高まるので、適期の防除に努めてください。

※無人ヘリコプターによる防除予定時期

防除時期	農薬名	10a当たり散布量
4月10日～16日頃	トップジンMゾル	8倍（0.8ℓ）
4月17日～23日頃	ワークアップフロアブル	10～16倍（0.8ℓ）

【麦角病の防除】

症状：麦角病に感染すると暗褐色の突出する麦角が生じる。

- 麦角病が発生すると赤かび病と同様に抜取りや別扱いにする必要があります。
- 麦角病原菌は、畦畔のイネ科雑草等に潜んでいます。また、防除薬剤は無いことから、麦角病の発生を抑えるために畦畔の草刈りを徹底しましょう。

